

2025年11月10日～11月16日 新型コロナの感染状況

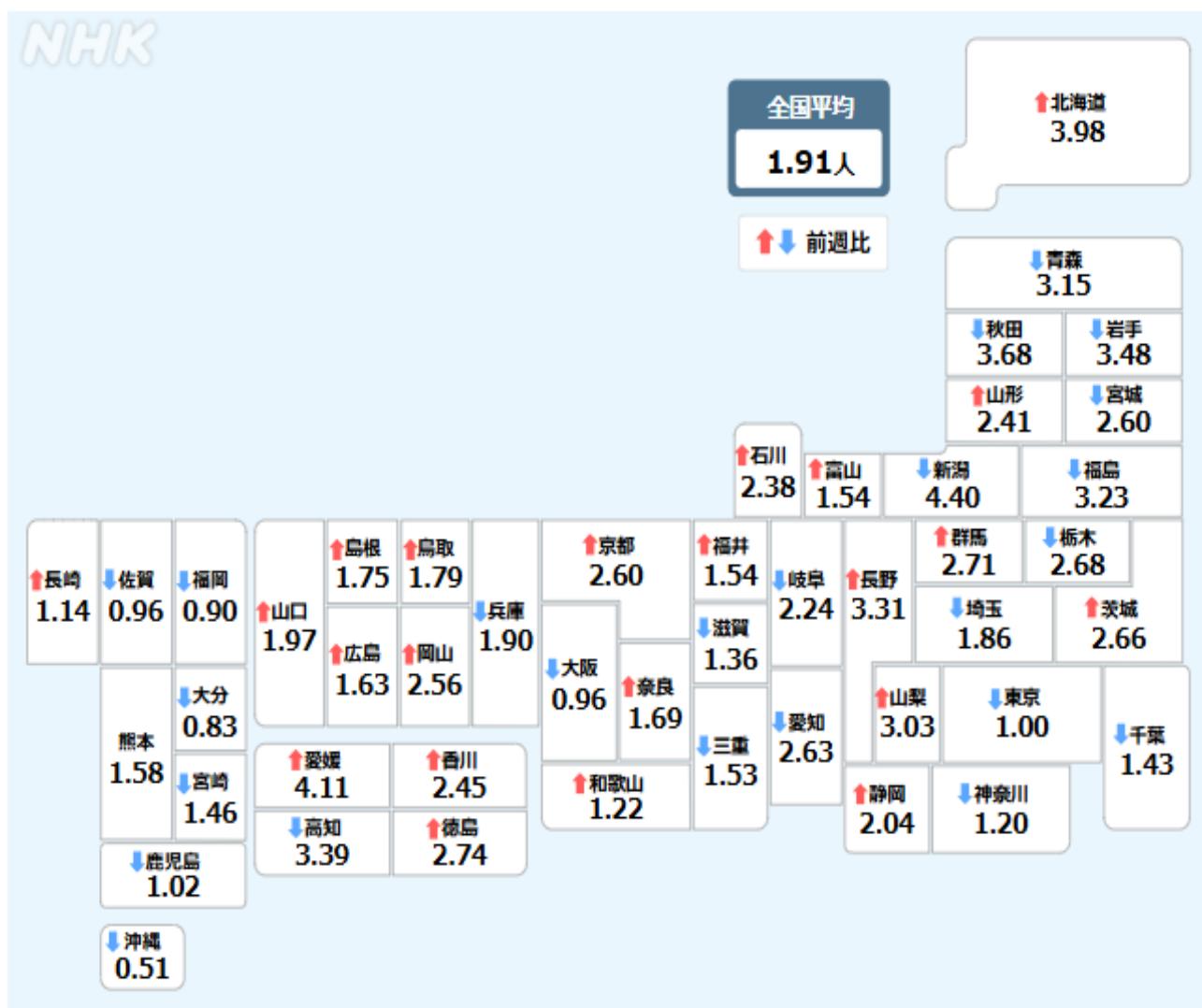
(1 医療機関あたり NHK 発表)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023年5月8日(月)に「5類」に移行し、新型コロナの感染状況を示すデータは、これまでの「全数把握」から、全国およそ5000の医療機関からの報告をもとに公表する「定点把握」に変わりました。「定点把握」のデータの発表は、2023年5月19日(金)から始まり、2025年4月18日(金)からは、全国のおよそ3000の医療機関からの報告をもとにデータが公表されています。

「定点把握」のデータの発表は、2023年5月19日(金)から始まりました。2025年11月21日(金)に発表された以下のデータは「11月10日(月)から11月16日(日)までの1週間に確認された1医療機関あたりの感染者数の平均値」となります。

地図上の都道府県をクリックすると、「都道府県ごとのデータ」や「地域のニュース」がご覧いただけます。

2025年11月21日 発表



※「定点把握」のデータは、毎週、日曜日までの1週間に確認されたデータが、金曜日に厚生労働省から「速報値」として発表されます。その後、詳しく確認が行われたデータが、翌週火曜日に国立健康危機管理研究機構から発表されます。

全国	
2025年11月3日～11月9日	2025年11月10日～11月16日
1.95人	1.91人

※厚生労働省の速報値です。データは後日修正される場合があります。

新型コロナ「定点把握」データ

過去の参考値と最新データを連続表示

厚生労働省は、今後の感染者数の推移を過去のデータと比較できるようにするため、2022年10月から2023年5月7日までの「第8波」を含む感染状況のデータを、「定点把握」で集計し直し、参考値として発表しました（青色の棒グラフ）。以下のグラフでは、この過去の参考値（青色の棒グラフ）と、2023年5月8日以降の最新の「定点把握」の数値（黄色い棒グラフ）を、便宜的に同じ画面内に連続して表示しています。

